

〔ふるさと自立計画〕

栗鹿地域まちづくり計画

あわが 悠々の里

歴史と豊かな自然を守り生かす、笑顔あふれる安心・安全なまちづくり

平成 23 年 3 月

栗鹿地域自治協議会

あわが 悠々の里

歴史と豊かな自然を守り生かす、笑顔あふれる安心・安全なまちづくり

粟鹿地域自治協議会は平成20年7月に設立し、翌年11月に県民交流広場事業の選定を受け、拠点施設の整備、粟鹿地域住民の交流、さらには都市との交流など各種イベントを進めて参りました。



様々な取り組みを進めていく中で、長期的な視点に立ち、粟鹿地域の将来像を見据えた上で、多様な活動主体の協働によるまちづくりを進めていく必要があると考え、今回、粟鹿地域のまちづくりの指針となる「粟鹿地域まちづくり計画」を策定いたしました。

朝来市から、兵庫県の「ふるさと自立計画推進モデル事業」を推進しているので応募してはと薦められ、役員会で協議し応募した結果9月に選定を受け、月1回のペースで、県担当職員、アドバイザーの皆様の指導のもと、粟鹿地域自治協議会会員を中心とした地域住民参加の主にワークショップによる策定会議を計6回開催しました。

最終回では、「粟鹿地域まちづくり計画」を会員及び地域住民に説明し、計画をご理解頂いた上で、今後のまちづくりへのご協力をお願いいたしました。

今後は、策定しました「粟鹿地域まちづくり計画」に基づき、粟鹿地域のまちづくりを進め、この粟鹿地域が5年後、10年後においても、高齢者を含め、地域住民が安心・安全に元氣よく暮らしていける地域となるよう取り組んで参りますので、地域住民の方々のより一層のご理解とご協力を賜りますようよろしくお願いいたします。

今回の「粟鹿地域まちづくり計画」策定にあたり地域住民の皆さん、又指導、ご尽力を賜りました県地域振興課、アドバイザーの皆様方及び関係者各位には深甚の謝意を表し、ご挨拶といたします。

平成23年3月



粟鹿地域自治協議会
会長 岡田 昭治郎

目 次

序章 地域まちづくり計画について.....	3
1. 地域まちづくり計画の位置づけ	3
1) 地域まちづくり計画とは.....	3
2) 粟鹿地域まちづくり計画の役割.....	3
2. 計画の対象と構成等	4
1) 計画の対象.....	4
2) 目標年次と取組み.....	4
3) 取組みの役割分担.....	4
4) 計画の構成.....	5
第1章 粟鹿地域の現況と課題.....	9
1. 粟鹿地域の現況	9
1) 位置	9
2) 地勢	10
3) 交通	10
4) 歴史・文化.....	10
5) 地域資源	10
6) 人口・世帯数.....	11
7) 産業	11
3. 地域住民の意向	12
1) 粟鹿地域まちづくりアンケート調査.....	12
2) 粟鹿地域自治協議会設立準備会.....	16
4. 地域活動の現状	18
1) 粟鹿地域自治協議会の組織構成.....	18
2) 地域活動	19
5. 朝来市総合計画	20
第2章 まちづくりの主要課題.....	25
1) 少子・高齢化社会への対応が必要	25
2) 来訪者の受け入れ体制の充実が必要.....	25
3) 地域産業の活性化が必要.....	25
4) 安心して暮らせる健康・福祉環境の充実が必要.....	26
5) 美しく安全な地域環境の維持が必要.....	26
6) 地域自治活動の財源確保が必要	26
7) 地域づくりに対する地域住民の関心と参加意欲の向上が必要.....	26

目 次

第3章 粟鹿地域が目指す将来像	29
1. まちづくりのテーマと基本方針	29
1) まちづくりのテーマ	29
2) まちづくりの基本方針	30
第4章 将来像の実現に向けた取組み施策	33
1. 主要課題と基本方針	33
2. 取組み施策	34
1) 【地域全体】「各分野の知識や能力を活かしたまちづくり」	34
2) 【地域づくり分野】「住む人、来る人が心ときめくまちづくり」	36
3) 【生涯学習・健康福祉分野】「健康で生きがいを実感できるまちづくり」	37
4) 【環境安全分野】「人にやさしく自然にやさしい、安心できるまちづくり」	39
3. 具体的な取組み施策についての検討	40
1) 「遊休農地の利活用」について	40
2) 「特産品づくり」について	41
3) 「安全・安心」について	42
第5章 まちづくりの推進に向けて	45
1. 取組みの推進プログラム	45
1) 【地域全体】「各分野の知識や能力を活かしたまちづくり」	45
2) 【地域づくり分野】「住む人、来る人が心ときめくまちづくり」	46
3) 【生涯学習・健康福祉分野】「健康で生きがいを実感できるまちづくり」	46
4) 【環境安全分野】「人にやさしく自然にやさしい、安心できるまちづくり」	47
2. 役割分担と地域協働	48
3. 計画の見直しについて	48
参考資料	51
1. 粟鹿地域まちづくり計画策定の経過	51
2. 第4回、第5回粟鹿地域ふるさと自立計画策定会議での意見	52
1) 第4回、第5回会議について	52
2) 各班の意見概要	53

序章 地域まちづくり計画について



④地域まちづくり計画をつくることが大切な経験（資産）となる

地域まちづくり計画をつくるプロセスが一番重要で、地域の大勢の人々が一緒になって議論、検討を重ねていくことが、大切な経験（資産）として積まれていきます。

2. 計画の対象と構成等

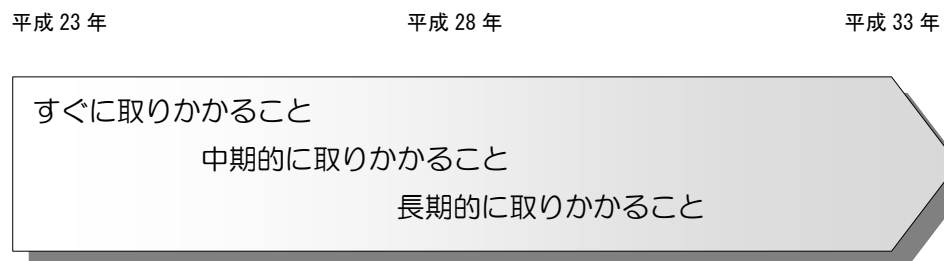
1) 計画の対象

栗鹿地域まちづくり計画の対象範囲は、栗鹿地域を範囲とします。

2) 目標年次と取組み

栗鹿地域まちづくり計画は、長期的な地域のまちづくりの基本方針や今後の取組み施策を示すものであり、概ね10年後の地域のあるべき姿を描くことを目標とします。

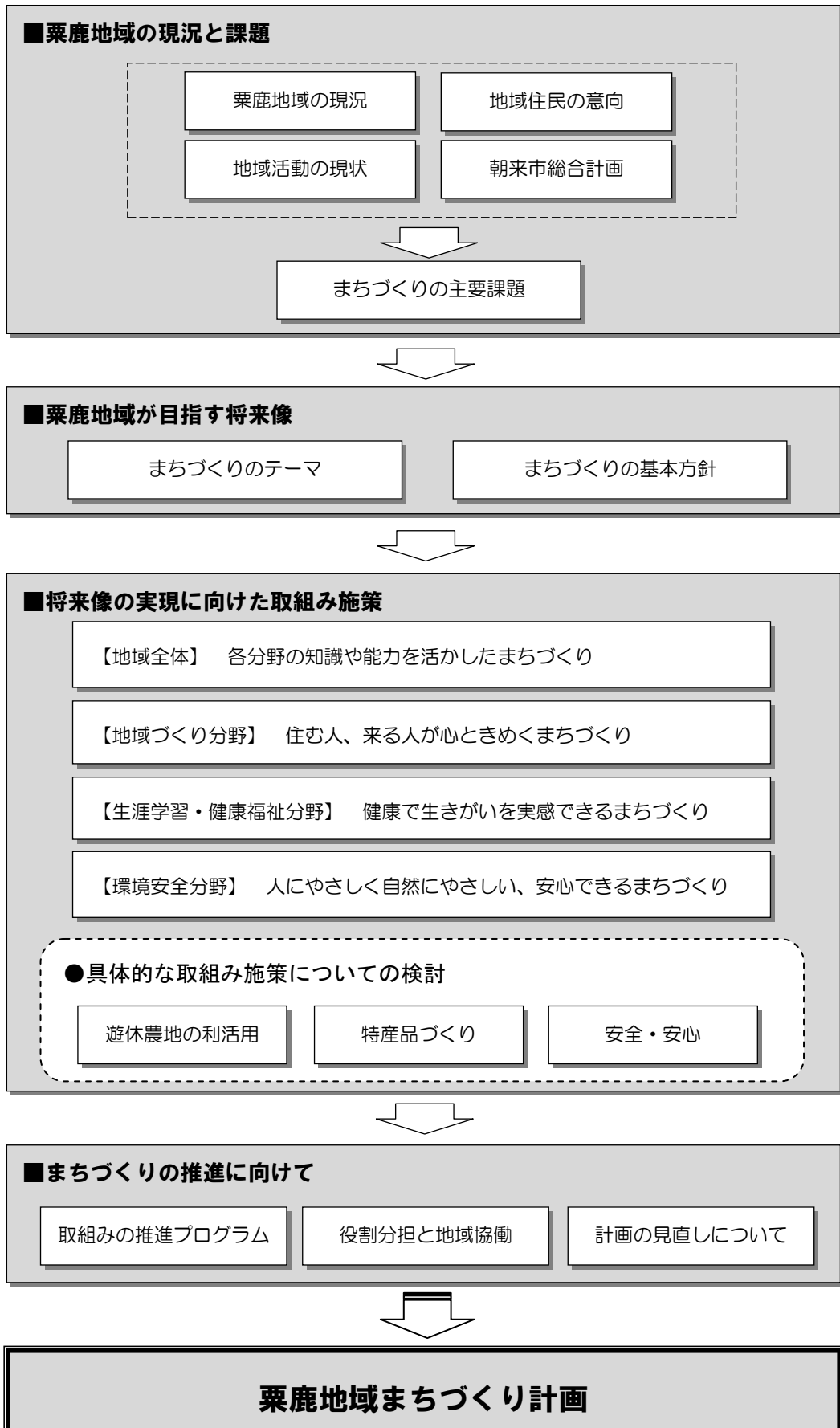
10年後の地域の将来像を実現するために、これから行っていく取組みとして、すぐに取りかかること（～2年以内）、中期的に取りかかること（2～3年）、長期的に取りかかること（4～5年又はそれ以降）に区分し、いつまでにやっていくのかを明確にします。



3) 取組みの役割分担

地域でできることは地域主体で、専門知識やノウハウが必要となれば様々な方との協働で、行政がしなければいけないことは行政主体で行っていくなど役割分担を明確にします。

4) 計画の構成



第1章 栗鹿地域の現況と課題



第1章 粟鹿地域の現況と課題

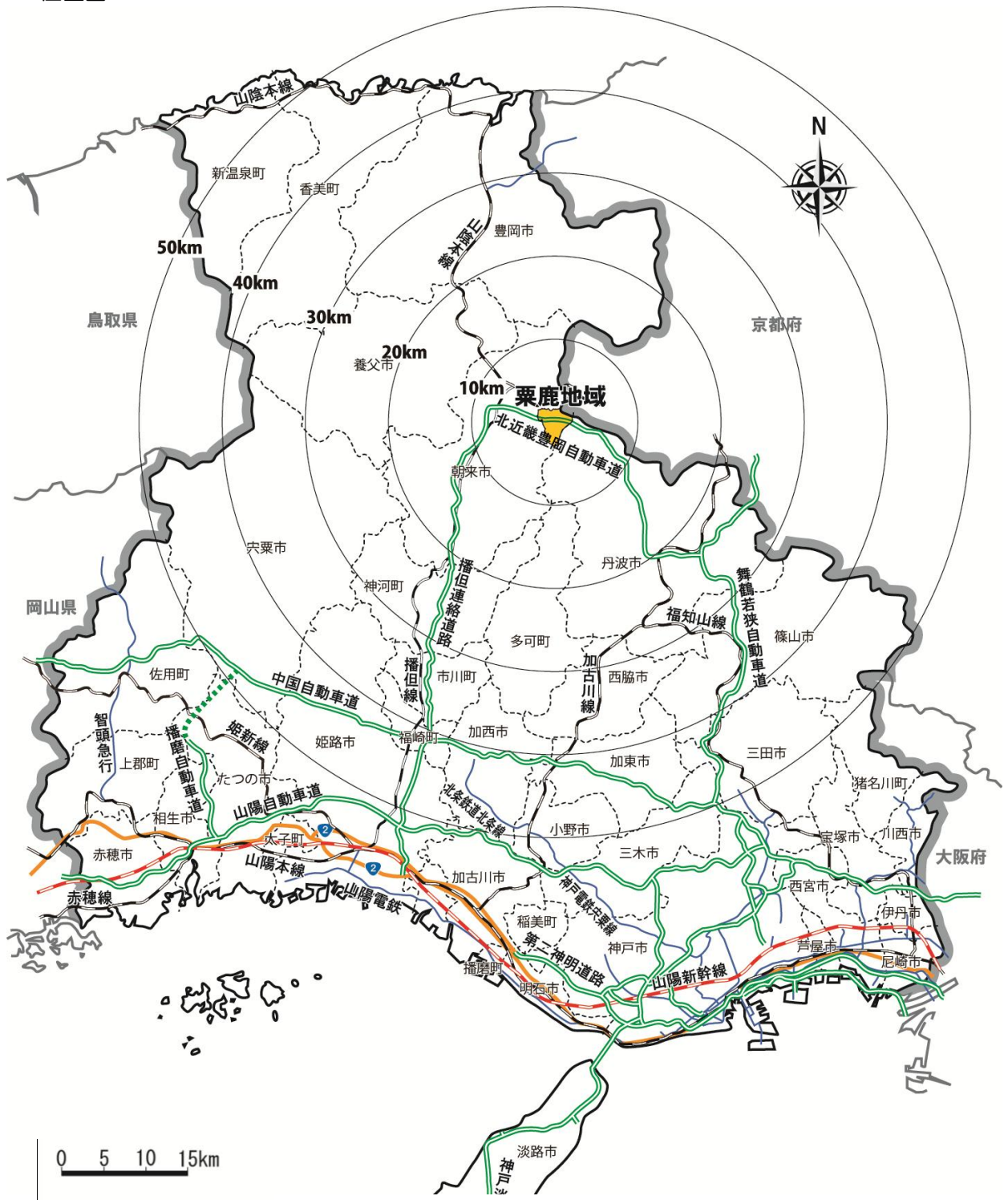
1. 粟鹿地域の現況

1) 位置

粟鹿地域は、兵庫県朝来市の東部（山東町内）に位置し、西は梁瀬地域、東は丹波市及び京都府福知山市に隣接する 14k m²の地域です。

神戸から約 70km の距離で、舞鶴若狭自動車道、北近畿豊岡自動車道等を利用すると約 1 時間 30 分の位置にあります。

■位置図



2) 地勢

粟鹿地域は、地域南部の粟鹿山（962m）の麓に広がる田園地帯です。地域は山々に囲まれ、粟鹿山から流れる粟鹿川、柴川が平野部を西へ流れています。

3) 交通

粟鹿地域は、広域的な幹線道路として北近畿豊岡自動車道が地域中央を東西に走り、山東インターチェンジを有しています。また、地域内には国道 427 号や県道粟鹿早田線などの幹線道路や市道が走っています。

公共交通としては、地域内を路線バスと朝来市コミュニティバス「アコバス」（山東東コース：火・木）が走っています。

4) 歴史・文化

粟鹿地域は、全国有数の式内社である粟鹿神社や由緒ある當勝神社、大同寺、鹿園寺があり、歴史的にも文化的にも誇ることのできる地域です。

粟鹿地域が位置する山東町は、昭和 29 年に梁瀬町、粟鹿村、与布土村が合併してできた町でしたが、平成 17 年に生野町、和田山町、朝来町の 3 町と合併し、現在の朝来市となっています。

5) 地域資源

粟鹿地域は、下記に挙げるような多様な地域資源を有しています。

①歴史・文化・まつり

粟鹿神社、當勝神社、大同寺、鹿園寺などの寺社・・・

②自然

粟鹿山から流れ出る清らかな水、 滝、 粟鹿川・柴川、 粟鹿山の山林、

田園、 遊休地や休耕田、 桜並木・・・

③景観

山の景観、 田園景観、 桜並木・・・

④産業・特産品

林業、 農業・・・

⑤観光地・交流の場等の施設

西宮市立山東自然の家、 山東農村広場 粟鹿小学校（平成 23 年 3 月に閉校）・・・

⑥人・地域活動

粟鹿地域自治協議会活動、 西宮市立山東自然の家を訪れる人・・・

6) 人口・世帯数

粟鹿地域の人口は、1,309人、世帯数は452世帯となっており、1世帯あたりの平均世帯人員は、2.89人/世帯となっています。

また、地域の65歳以上の人口は、443人で粟鹿地域の人口の32.7%を占めています。朝来市全体の65歳以上の人口割合は29.0%であり、比較すると高齢化率が高い地域といえます。

※上記文章中の人口及び世帯数の数値は、住民基本台帳の数値（粟鹿地域はH22.1、朝来市はH21.3時点）

7) 産業

粟鹿地域の産業は、粟鹿山で木材を育てる林業と、流れ出る清らかな水で営む農業が主となっていますが、そのほとんどが兼業であり、高齢化と後継者の不足による森林の荒廃や遊休地が増加しつつあります。

■地域資源分布図



3. 地域住民の意向

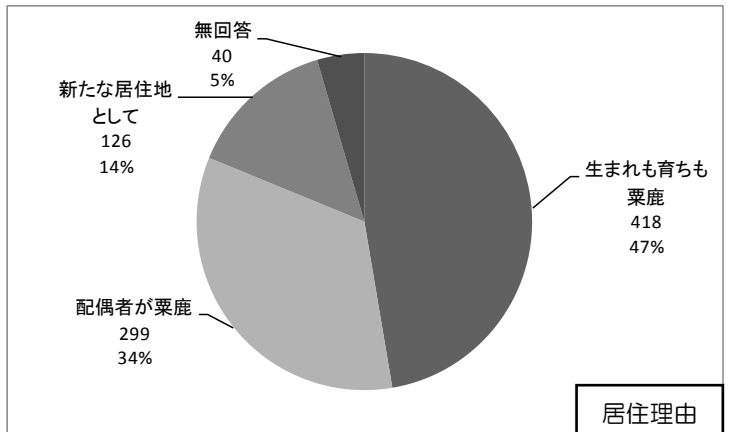
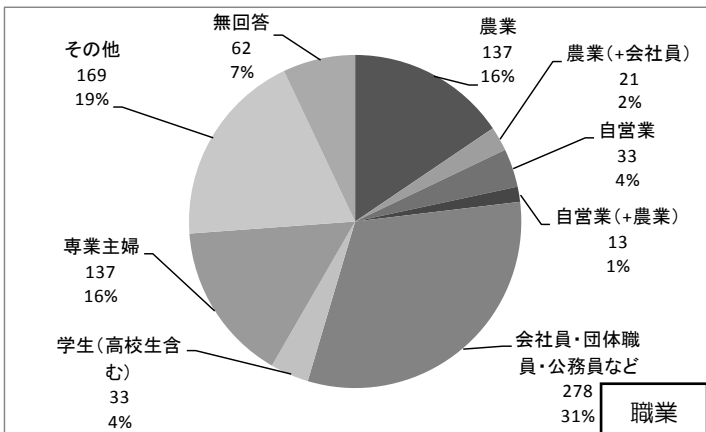
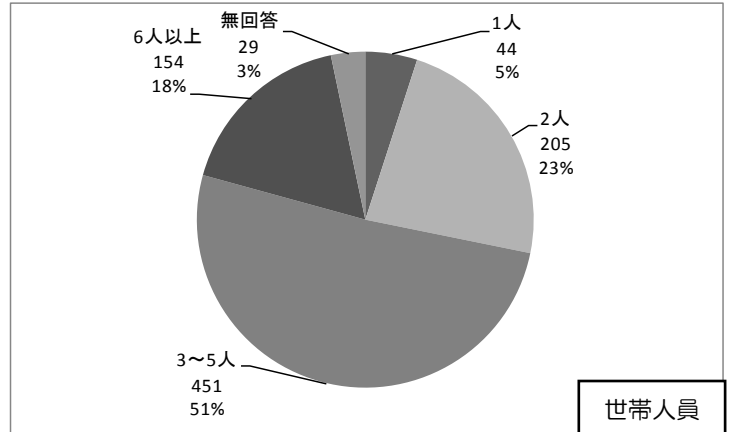
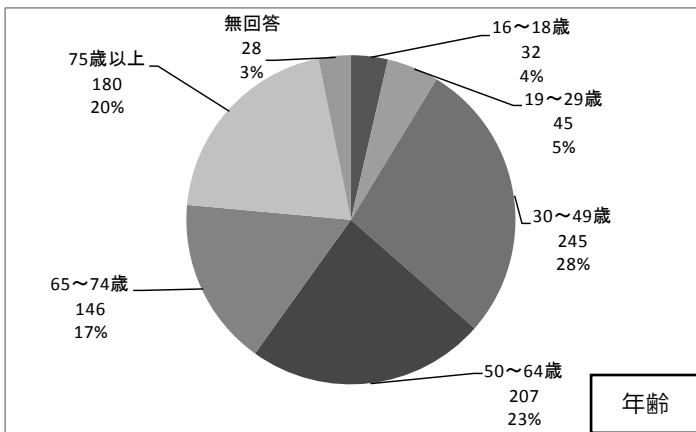
1) 粟鹿地域まちづくりアンケート調査

ここでは、粟鹿地域のまちづくりに向け、地域住民の意向把握を目的とした粟鹿地域まちづくりアンケート調査結果の概要を整理します。

(1) アンケート調査の概要

調査時期	・平成 21 年 1 月
調査対象	・粟鹿地域に住む 16 歳（高校生）以上の方全員
調査方法	・区長を通じての直接配布及び回収
回収数	・883 通
主な調査内容	<ul style="list-style-type: none"> ・回答者の属性（年齢、世帯人員、職業 等） ・生活環境（住みやすさ、今後の居留意向、将来の地域像 等） ・自然環境（魅力・問題、ごみ処理 等） ・農業（耕作面積、農業後継者の対応、遊休地の活用） ・子どもを育む環境整備（まちづくりへの子供の参加） ・防犯・防災等、安全・安心（病院への交通手段） ・各種イベント・行事への参加意向 ・粟鹿地域自治協議会について ・コミュニティビジネスについて

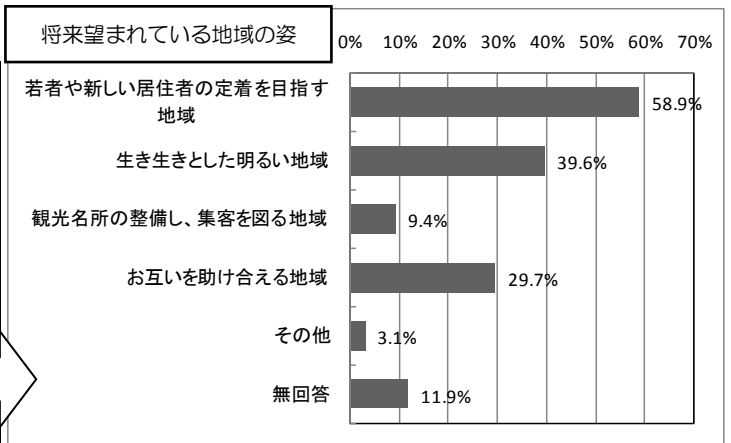
(2) 回答者の属性



(3) アンケート調査の結果概要

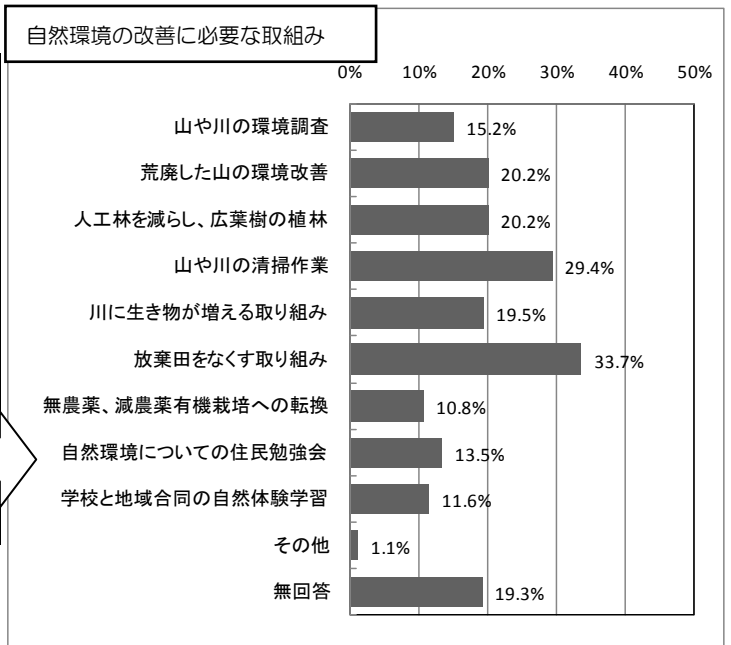
①生活環境

- ・住みやすい地域だと思う ⇒64%
- 理由は「自然環境がよい」⇒51%
- ・住みにくい地域と感じる所
- 「買い物に不便」 ⇒49%
- ・地域に住み続けたい ⇒79%
- ・将来望まれている地域の姿
- 「若者や新しい居住者の定着を目指す地域」 ⇒59%



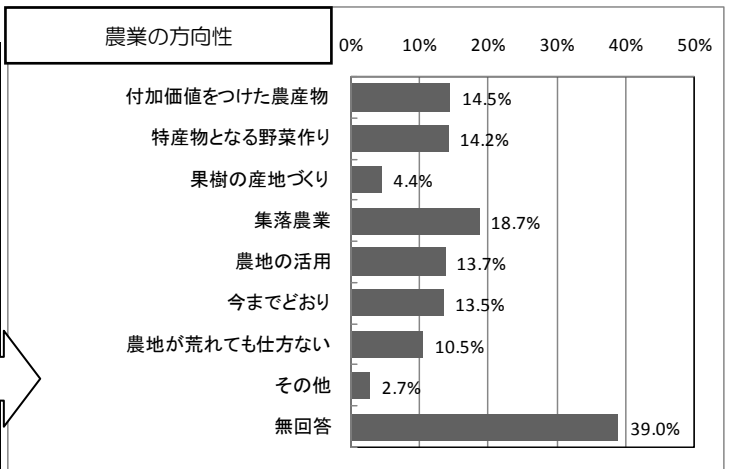
②自然環境

- ・地域の自然環境の魅力
- ①粟鹿山山麓・滝 ⇒40%
- ②きれいな空気 ⇒39%
- ・地域の自然環境の問題
- ①猪や鹿などの獣害増加 ⇒44%
- ②川の生き物の減少 ⇒37%
- ③放棄田の増加 ⇒35%
- ・自然環境の改善に必要な取組み
- ①放棄田をなくす取組み ⇒34%
- ②山や川の清掃作業 ⇒29%



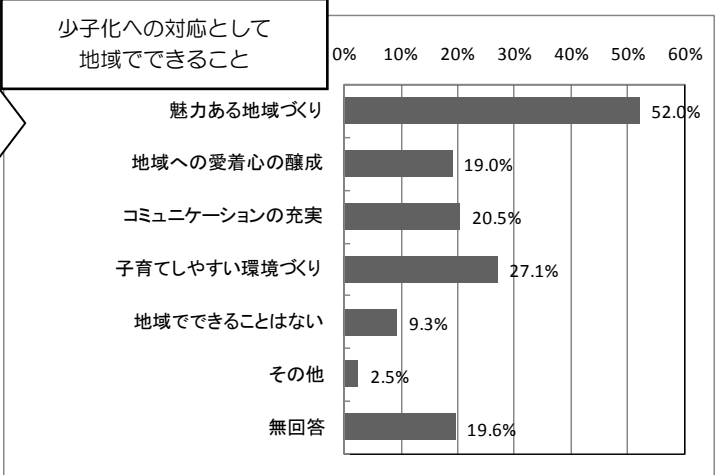
③農業

- ・農業後継者がいる（農業後継者になる）⇒15%
- ・耕作していない農地がある ⇒34%
- ・休耕田をどうしたいか
- ①農地を貸したい ⇒33%
- ②休耕田のまま ⇒19%
- ・農業の方向性
- ①集落農業 ⇒19%
- ②付加価値をつけた農産物 ⇒15%
- ③特産品となる野菜作り ⇒14%



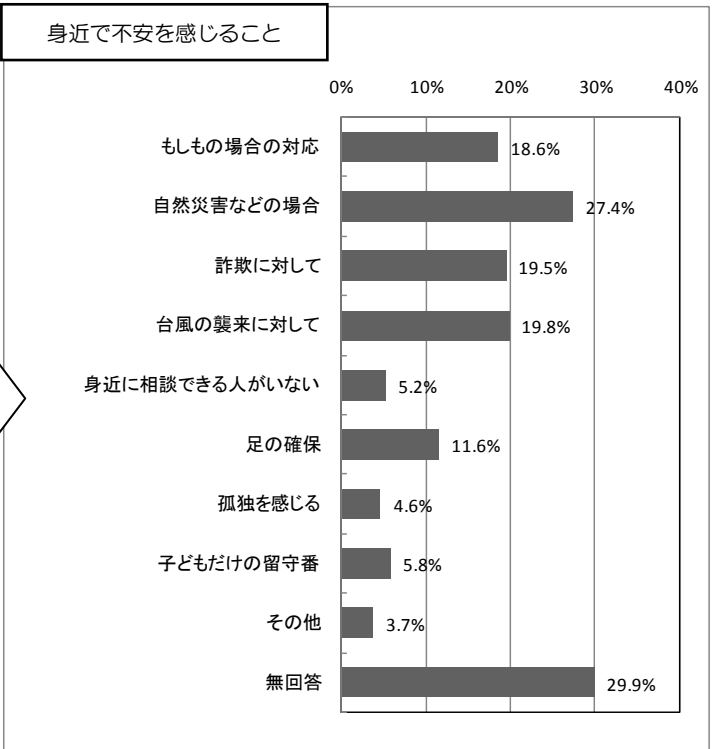
④子どもを育む環境整備

- ・ 少子化への対応として地域でできること
 - ①魅力ある地域づくり ⇒52%
 - ②子育てしやすい環境づくり ⇒27%
- ・ 就学前の子どもがいる親として望むサービス
 - ①コミュニケーションを図る ⇒33%
 - ②預かり保育 ⇒32%



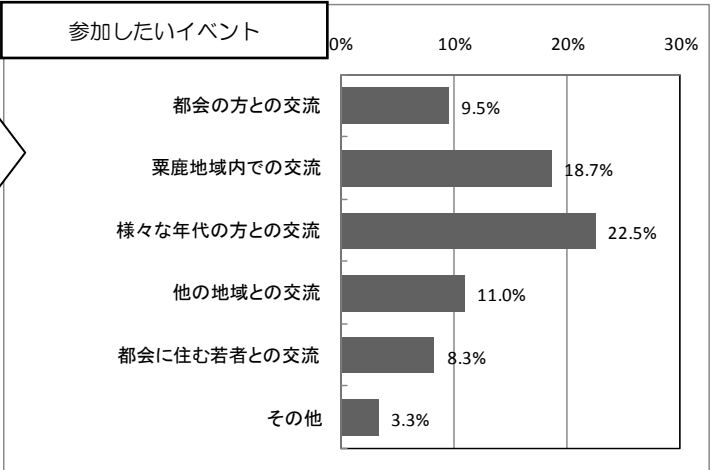
⑤防犯・防災等、安全・安心

- ・ 病院への交通手段
 - ①自分で運転して ⇒62%
 - ②家族の送迎 ⇒15%
- ・ 地域の治安は良いか
 - 「良い」43% 「悪化」17%
- ・ 身近で不安を感じることに
 - ①自然災害などの場合 ⇒27%
 - ②台風の襲来に対して ⇒20%
 - ③詐欺に対して ⇒20%
 - ④もしもの場合の対応 ⇒19%
- ・ 安全対策として地域で行えば良いと思うこと
 - ①通学の際の見守り ⇒35%
 - ②高齢者世帯への健康確認 ⇒34%
 - ③災害時における援護体制づくり ⇒24%
 - ④交通安全・防犯教室の開催 ⇒18%



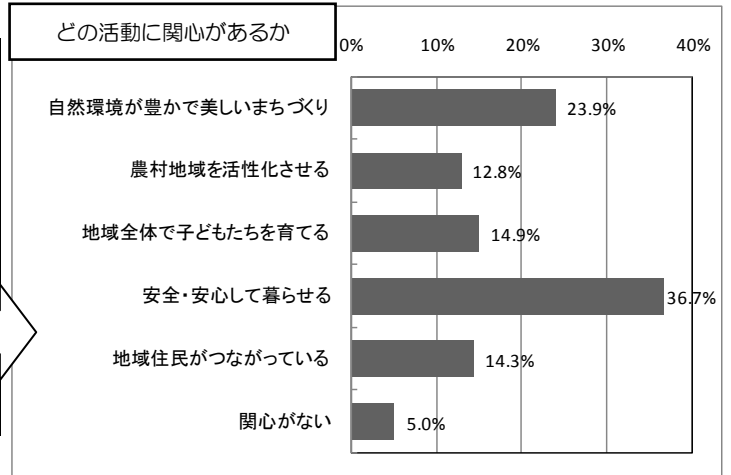
⑥各種イベント・行事

- ・ 参加したいイベント
 - ①様々な年代の方との交流 ⇒23%
 - ②粟鹿地域内での交流 ⇒19%
 - ③他の地域との交流 ⇒11%
- ・ 「広報粟鹿」を読んだ事があるか「ある」51%



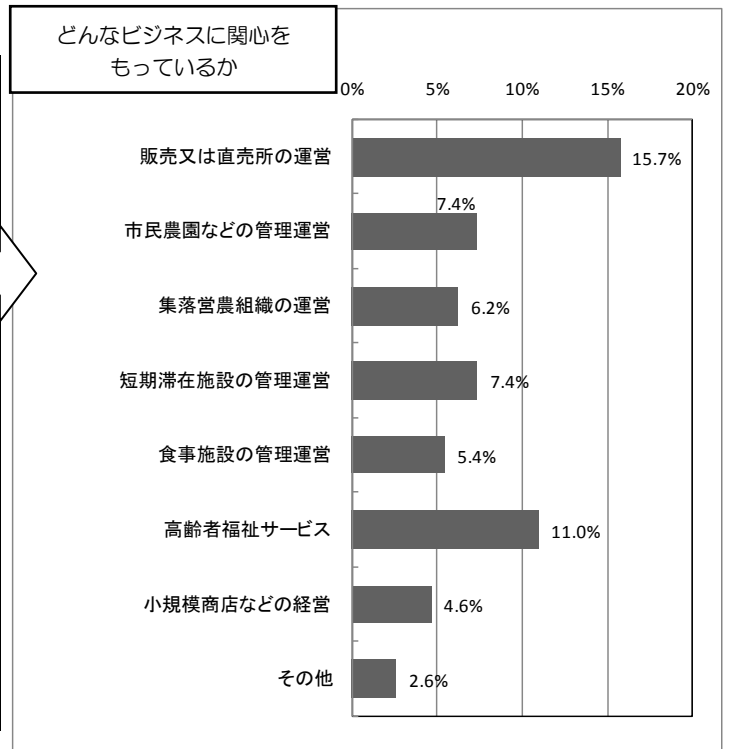
⑦栗鹿地域自治協議会について

- 栗鹿地域自治協議会の活動を知っているか
 - 「知っている」 ⇒32%
 - 「名前は聞いた事がある」 ⇒31%
 - 「名前も聞いたことがない」 ⇒9%
- どの活動に関心があるか
 - ①安全・安心して暮らせる ⇒37%
 - ②自然環境が豊かで美しいまちづくり ⇒24%
 - ③地域全体で子どもたちを育てる ⇒15%



⑧コミュニティビジネスについて

- コミュニティビジネスに関心があるか
 - 「ある」 27%、「ない」 29% 「無回答」 41%
- どんなビジネスに関心をもっているか
 - ①販売又は直売所の運営 ⇒16%
 - ②高齢者福祉サービス ⇒11%
 - ③市民農園などの管理運営 ⇒7%
 - ④短期滞在施設の管理運営 ⇒7%
- コミュニティビジネスの適当な実施単位は
 - 「集落単位」 ⇒11%
 - 「栗鹿地域全体」 ⇒25%
 - 「自主グループ」 ⇒14%
 - 「個人」 ⇒2%
 - 「その他」 ⇒2%



2) 粟鹿地域自治協議会設立準備会

(1) 意見の概要

ここでは、粟鹿地域自治協議会設立に向けた準備会（平成20年2月28日設置）での意見を整理します。

■地域のほこれるところ

【交通】

- ・自動車道路の整備ができています。
- ・高速道路のインターがある。
- ・国道がある。
- ・自動車道路の整備が進んでいる。

【伝統文化】

- ・立派な寺社仏閣がある。（粟鹿神社等）
- ・粟鹿神社の秋祭りが盛大に行われる。
- ・寺社仏閣等ほこれる建造物がある。
- ・粟鹿神社、當勝神社等の寺社仏閣が多い。

【景観・自然】

- ・自然環境に恵まれた住み良い地域。
- ・粟鹿山、桜並木がきれい。
- ・自然災害が少ない地域。
- ・柴川、大同寺の桜並木がある。
- ・親水公園など憩いの場所が整備されている。
- ・田畑に囲まれて四季を感じることができる。
- ・野菜が多い。
- ・景観的資源・粟鹿山・粟鹿の滝がある。
- ・緑豊かで空気がきれい。
- ・粟鹿山というシンボルがある。
- ・自然環境に恵まれ災害も少ない。

【人】

- ・人情味の豊かな人、こまやかな人が多い。
- ・地域の人の交流が多い。

【都市交流】

- ・自然の家で都市農村交流が行われている。
- ・山東少年自然の家がある。

【その他】

- ・粟鹿村の歌がある。
- ・若い住人・子どもが増え活気がでてきた。

■地域のよくないところ

【交通】

- ・道路に防犯灯が少ない。
- ・道路に街灯が少ない。
- ・公共交通機関がない。
- ・高齢者にとって交通の便が悪い。
- ・国道の歩道の整備が遅れている。
- ・高速道路整備により市道での交通事故が増えた。

【農業】

- ・農業用水の確保が難しい。
- ・畦畔が大きいので維持が困難。
- ・農産物の獣害による被害が多い。

【少子高齢化・人手不足】

- ・高齢化が進んでいる。
- ・農業後継者がいない。
- ・若者の雇用場所がないので流出している。
- ・地域のリーダーになる人が少ない。
- ・田中区の混住化が進んでいる。
- ・地域間の交流がない。

【その他】

- ・地域のイメージが暗い。
- ・スーパー、銀行、病院等が近くにない。
- ・近くにスーパー、郵便局がない。
- ・地域に店がない。
- ・地域での連帯感が薄れてきている。

■区や団体について困っていること

【交通】

- ・ 427 号の舗装が狭い。車線が狭い。
- ・ 交差点に信号がなく危険な箇所がある

【少子高齢化・人手不足】

- ・ 子どもの数が少ない。
- ・ 子ども会の行事がなくなった。
- ・ 区民数の減少。
- ・ 区の行事の参加者が少ない。
- ・ 区・老人会などの役員が偏っている。
- ・ 区の世話役の成り手がいない。
- ・ 高齢者世帯の増加。
- ・ 限界集落になり区の役員の成り手がいない。
- ・ 老人会・消防団員等の成り手がいない。
- ・ 防犯パトロール人員の不足。
- ・ 防災・防犯関係の人員不足。

【農業】

- ・ 高齢化による農業問題。
- ・ 不作付け農地の防止。
- ・ 農業をする若い人が少ない。
- ・ 耕作放棄田が増加してきている。

【伝統文化】

- ・ 伝統文化に対する取組みが薄れてきている。

【その他】

- ・ 犬の散歩のマナーが悪い。
- ・ 子どものあいさつが少なくなった。
- ・ 農免・山間道路にごみの不法投棄が多い。
- ・ 救急病院が近くにない。
- ・ 病院の医師削減により緊急時の不安がある。

■どのような地域になったらよいか

【地域づくり】

- ・ 雇用の確保。
- ・ 企業誘致をして若者の定着化を図る。
- ・ 都市農村の交流を図る。
- ・ 粟鹿の名産品の開発
- ・ 地域の足の確保。
- ・ 粟鹿地域営農組合の設立。

【環境安全】

- ・ 自然を生かした集客。
- ・ 防犯灯を多くする。
- ・ 歩道の整備。
- ・ 桜の木にボンボリをつける。
- ・ 粟鹿川に水性生物が少ない。

【生涯学習・健康福祉】

- ・ 地域全体のイベントの実施。(運動会など)
- ・ 地区の垣根をとる。(助け合う)
- ・ 開業医のある町。
- ・ 老人等弱者が不便のない生活が送れる町。

【その他】

- ・ 地区の垣根をとる。(助け合う)
- ・ 声掛け、笑顔のよく見られる地域にする。
- ・ 商工的な看板が欲しい。
- ・ 共同作業の推進。

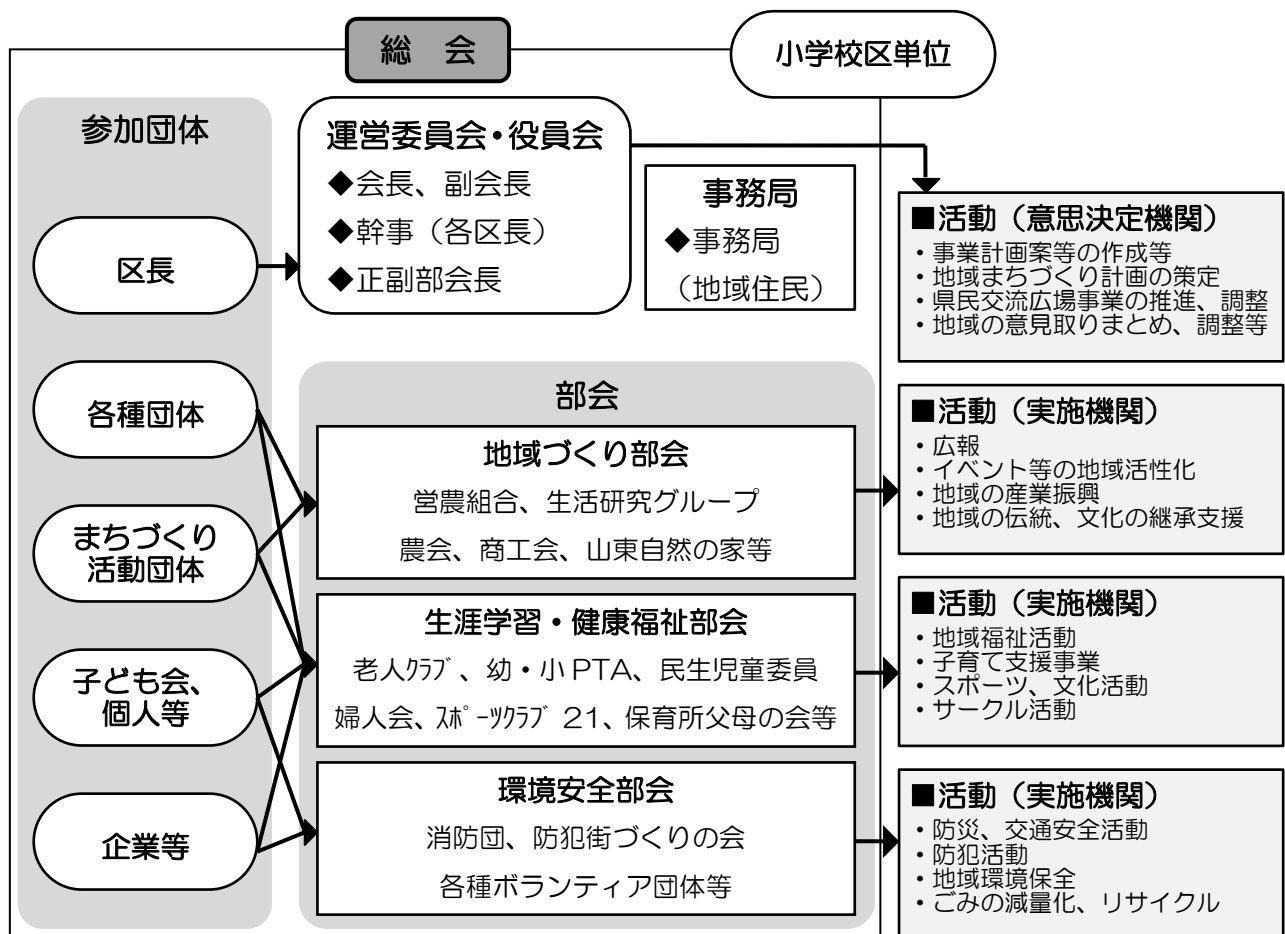
4. 地域活動の現状

1) 栗鹿地域自治協議会の組織構成

栗鹿地域自治協議会は、地域が一体となり、多くの団体等が参加する小学校区単位の組織であり、地域のコミュニティの核となる組織です。

地域の産業、福祉、防災・防犯等の様々な課題を、地域の力で解決するための組織です。

■栗鹿地域自治協議会の組織構成



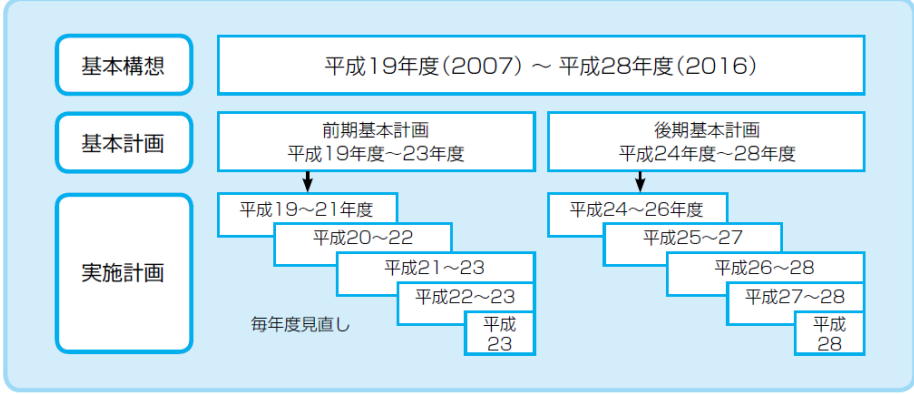
2) 地域活動

ここでは、現在、粟鹿地域自治協議会で行っている主な取組みを整理します。

部会名	内容
協議会全体	・ふれあい交流広場（喫茶バンビ）
	・粟鹿ふれあい盆踊り大会
	・県民交流広場事業関係の取組み
地域づくり	・産業振興
	・地域の農林業の活用
	・ふれあいウォーキング
	・伝統的（有形・無形）を含む史跡マップの検討
生涯学習・健康福祉部会	・ふるさと粟鹿を語る会
	・パソコン教室
	・花見ウォーキング
	・ふるさと発見活動（バザー等）
	・独居老人訪問
環境安全	・防犯・交通安全講習会
	・ゴミ拾い（遠坂峠・くじら峠）
	・河川の清掃
	・リサイクル活動

5. 朝来市総合計画

粟鹿地域まちづくり計画の上位計画である「朝来市総合計画」の方針を整理します。

<p>計画の構成と期間</p>	<p>初年度：平成19年度(2007年) 目標年度：平成28年度(2016年)</p> 
<p>基本理念</p>	<p>自考・自行、共助・共創のまちづくり (自ら考え、自ら行動し、共に助け合い、共に創る)</p>
<p>将来像と キャッチフレーズ</p>	<p>人と緑 心ふれあう 交流のまち 朝来市 ～元気あふれる兵庫中央拠点都市～</p> <p>「人と緑」とは、 持続可能な環境にやさしい循環型まちづくりへの取組みと、豊かな自然と市民生活が調和・共生している姿を表しています。</p> <p>「心ふれあう」とは、 郷土愛・人間愛に満ちた市民がお互いに支え合いながら、生涯を安心して暮らしていける姿を表しています。</p> <p>「交流のまち」とは、 市外の人たちや市民相互、また市民と行政が交流・連携し、多様な活動を展開し、新たな活力を生み出している姿を表しています。</p>
<p>重点まちづくり方針 (重視する3つの視点)</p>	<p>①環境優先 ②安心生活 ③交流活力</p>
<p>基本目標</p>	<p>I. 人にやさしく 自然にやさしい 安心できるまちづくり II. 住む人・来る人 心ときめくまちづくり III. 健康で生きがいを実感できるまちづくり IV. 心豊かな教育・郷育・共育のまちづくり V. みんなが主役 住み続けたいまちづくり</p>

■土地利用方針

【ゾーン形成の方向】

土地利用方針

■ゾーン形成の方向



複合都市ゾーン	● 行政機能及び商業・工業などの業務機能、居住機能などが複合するゾーンとして整備、誘導していきます。
市街地住宅ゾーン	● 複合都市ゾーンと連携・補充する地区拠点機能の整備を進めます。暮らしに身近な商業などの業務機能、快適な居住機能の配置を誘導していきます。
工業ゾーン	● 恵まれた交通立地条件を活かし、新たな企業誘致に対応する団地の整備を進め、優良企業の誘致と既存立地企業への支援の充実に努めます。
自然レクリエーションゾーン	● 恵まれた自然を有効に活用したレクリエーションの環境整備を進め、観光・交流を促していきます。
農業・農村定住／緑林ゾーン(全域)	● 中山間地域の農地や森林の荒廃化を防止し、農林業生産基盤の整備と国土保全などの公益的機能の維持・向上に努めるとともに、農村集落の環境保全や多自然型の居住空間、自然・農林業の体験、余暇などの場としての有効な活用に努めます。

第2章 まちづくりの主要課題



第2章 まちづくりの主要課題

ここでは、「粟鹿地域の現況」、「地域住民の意向」、「地域活動の現況」、「朝来市総合計画」を踏まえ、まちづくりの主要課題を整理します。

1) 少子・高齢化社会への対応が必要

少子・高齢化社会を迎え、核家族化の進展、生活様式の多様化などから、家族や地域で互いに支え合う力が弱くなってきています。

そのような傾向の中で、粟鹿地域においては、雇用の確保、人手不足、商業施設や病院などが少ない、防犯・災害対策、子育てや老後の不安など様々な課題を抱えています。

今後、少子・高齢化は、ますます進展していくと予測されるため、少子・高齢化社会を踏まえた上でのまちづくりを進めていく必要があります。

2) 来訪者の受け入れ体制の充実が必要

粟鹿地域は、年間3万5千人の子ども達が訪れる西宮市立山東自然の家や粟鹿神社など地域外から多くの来訪者が訪れています。

さらに、地域内には、寺社などの歴史・文化資源に加え、清らかな水、地域の背景となる粟鹿山の景観、豊かな田園風景などの自然資源や山東インターチェンジを有するなど交通の拠点ともなっていますが、それらを効果的につなぎ来訪者を受け入れる体制が十分とは言えません。

また、地域外からの来訪者との交流の場として、平成23年春に閉校が決まった粟鹿小学校舎の利活用を検討するとともに、今後は、様々な地域資源を有機的に連携し、来訪者を受け入れる体制づくりの充実が必要です。

3) 地域産業の活性化が必要

粟鹿地域は、農業や林業などの第一次産業が基幹産業となっていますが、従事者の高齢化や減少などにより、産業活動の衰退や遊休農地・荒廃地の増加による山林・田園環境の悪化が懸念されます。

そのため、担い手や後継者の育成や確保を進めていく必要があります。

また、遊休農地を交流・教育の場として活用することで交流促進や遊休地の解消を目指し、さらには多様な地域資源と有機的に結ぶことで観光産業の創出へつなげ、農業を通じた交流のまちづくりの展開も検討する必要があります。

また、新たな地域産業の拠点として、平成23年春に閉校が決まった粟鹿小学校舎の利活用を検討する必要があります。

4) 安心して暮らせる健康・福祉環境の充実が必要

粟鹿地域は、歩いて行ける範囲に商業施設や病院などは少ない状況であるため、特に車を利用できない高齢者等に対して買い物や通院の足となるバス交通等の維持・確保が必要です。

また、独居老人の見守りや通学の際の見守り、子育て支援等地域が支える総合的な福祉支援も必要です。

5) 美しく安全な地域環境の維持が必要

粟鹿地域は、遊休農地の増加やゴミのポイ捨てや不法投棄などにより、緑豊かな自然景観が阻害されることが懸念されます。そのため、豊かな自然の保全・活用を図るとともに清掃や美化活動の推進が必要です。

また、山東インターチェンジ周辺などは交通事故も多く見られることから交通事故の防止や災害時の対応、防犯対策など安全に暮らせる地域環境の維持が必要です。

6) 地域自治活動の財源確保が必要

粟鹿地域が、地域課題の改善に向けた様々な取り組みを行うに当たっては、地域の財源が必要となります。そのため、山林、清らかな水、遊休農地など地域資源をうまく活用し、貸農園の利用、特産品の企画・生産・販売など、地域住民の能力・技術を活かした財源の確保に向けた取り組みが必要です。

また、取り組みに向けては、受け皿としての活動の組織づくりを進め、地域住民への周知を行い理解・協力のもと進めていく必要があります。

7) 地域づくりに対する地域住民の関心と参加意欲の向上が必要

従来、まちづくりの主体は行政が中心でしたが、まちづくりへの地域住民の意識の高まりなどを受けて、地域住民はもとより地域住民、企業、関係機関、各種団体等、様々な主体が関わるようになってきました。

しかし、粟鹿地域においては、地域住民の粟鹿地域自治協議会の活動への関心は低いいため、今後は、地域住民に対して地域の活動を広く周知し、地域住民の主体的な参加を促進するとともに、地域住民、企業、関係機関、各種団体等が適切な役割分担の下、相互に連携する協働のまちづくりが必要です。

第3章 栗鹿地域が目指す将来像



第3章 粟鹿地域が目指す将来像

1. まちづくりのテーマと基本方針

1) まちづくりのテーマ

粟鹿地域の目指すまちづくりのテーマを次のように設定します。

■粟鹿地域の現況	■地域住民の意向	■地域活動の現状
■朝来市総合計画 【基本理念】 ■自考・自行、共助・共創のまちづくり (自ら考え、自ら行動し、共に助け合い、共に創る) 【将来像とキャッチフレーズ】 人と緑 心ふれあう 交流のまち 朝来市 ～元気あふれる兵庫中央拠点都市～		
■粟鹿地域のまちづくりの主要課題 1) 少子・高齢化社会への対応 2) 来訪者の受け入れ体制の充実 3) 地域産業の活性化 4) 安心して暮らせる健康・福祉環境の充実		5) 美しく安全な地域環境の維持 6) 地域自治活動の財源確保 7) 地域づくりに対する地域住民の関心と参加意欲の向上

【粟鹿地域のまちづくりのテーマ】

あわが 悠々の里

歴史と豊かな自然を守り生かす、笑顔あふれる安心・安全なまちづくり

粟鹿地域は、雄大な粟鹿山の山麓に広がる田園地帯です。地域には、西宮市との交流拠点でもある西宮市立山東自然の家を有し、粟鹿神社や由緒ある當勝神社、大同寺、鹿園寺があり、歴史・文化的にも誇ることのできる地域です。

また、平成18年には、北近畿豊岡自動車道が開通し、但馬の玄関口とも言える山東インターチェンジが当地域にできたことで、京阪神に近く立地条件の良い地域となりました。

しかし、人口減少や少子・高齢化が進む中で、高齢者等の安全性の確保、遊休農地の活用や担い手不足の解消、地域の魅力向上など地域で抱える問題は多々あるのが現状です。

さらに、平成23年春には、粟鹿小学校が閉校となり、ますます地域の活力は低下していくのではないかと懸念されます。

これらのことを踏まえ、粟鹿地域では、閉校となる小学校等の施設を有効に活用しながら、粟鹿の歴史や豊かな自然環境を守り生かすとともに、地域住民が安心・安全と感じることのできるまちづくりを、地域住民、事業者、行政等の多様な活動主体が協働のもとで進めていきます。

2) まちづくりの基本方針

まちづくりのテーマである「あわが 悠久の里～歴史と豊かな自然を守り生かす、笑顔あふれる安心・安全なまちづくり～」の実現に向けて、まちづくりの将来目標と基本方針を地域全体に関する事項と3つの分野ごとに掲げ、まちづくりに取り組んでいきます。

(1) 地域全体に関する事項

将来目標	各分野の知識や能力を活かしたまちづくり
基本方針	<ul style="list-style-type: none"> ●粟鹿地域全体として取り組む必要がある事項は、各分野が協力して取り組んでいきます。 ●地域住民自らが、主体的にまちづくりに取り組み、地域住民・行政・企業等の協働のもとまちづくりを進めます。

(2) 地域づくり分野

将来目標	住む人、来る人が心ときめくまちづくり
基本方針	<ul style="list-style-type: none"> ●遊休地の活用や特産品開発など、農業・商業・工業・観光産業の有機的な連携の中で一体となった地域産業の振興を進めます。 ●粟鹿の伝統・文化を守り、その魅力を地域内外へ発信することで、地域の誇りを呼び起こすとともに、地域内へ人を呼び込みます。 ●広域的な交通利便性（山東インターチェンジ）や西宮市山東自然の家等を活かした観光客誘致の取り組みを推進します。

(3) 生涯学習・健康福祉分野

将来目標	健康で生きがいを実感できるまちづくり
基本方針	<ul style="list-style-type: none"> ●独居老人訪問や子育て支援など地域内で助け合いながら、誰もが安心して暮らせるまちづくりを進めます。 ●誰もがいつでも行きたい所に行けるよう交通機能の充実に努めます。 ●子どもからお年寄りまでが集い楽しめる交流イベント等を通じ、人と人とのつながりを保ち、共に支え合う機運を高めていきます。

(4) 環境安全分野

将来目標	人にやさしく自然にやさしい、安心できるまちづくり
基本方針	<ul style="list-style-type: none"> ●災害時や緊急時などへの備えを自主的に行えるよう地域住民に啓発していくとともに、地域全体で防災・防犯活動が行える体制づくりを進めます。 ●山東インターチェンジ周辺などは特に交通事故の発生が多いことから、事故が起こらないよう交通安全活動を進めます。 ●粟鹿山や田園風景など地域の特徴的な自然景観を守るため、環境整備や美化活動を進めます。

第4章 将来像の実現に向けた 取組み施策



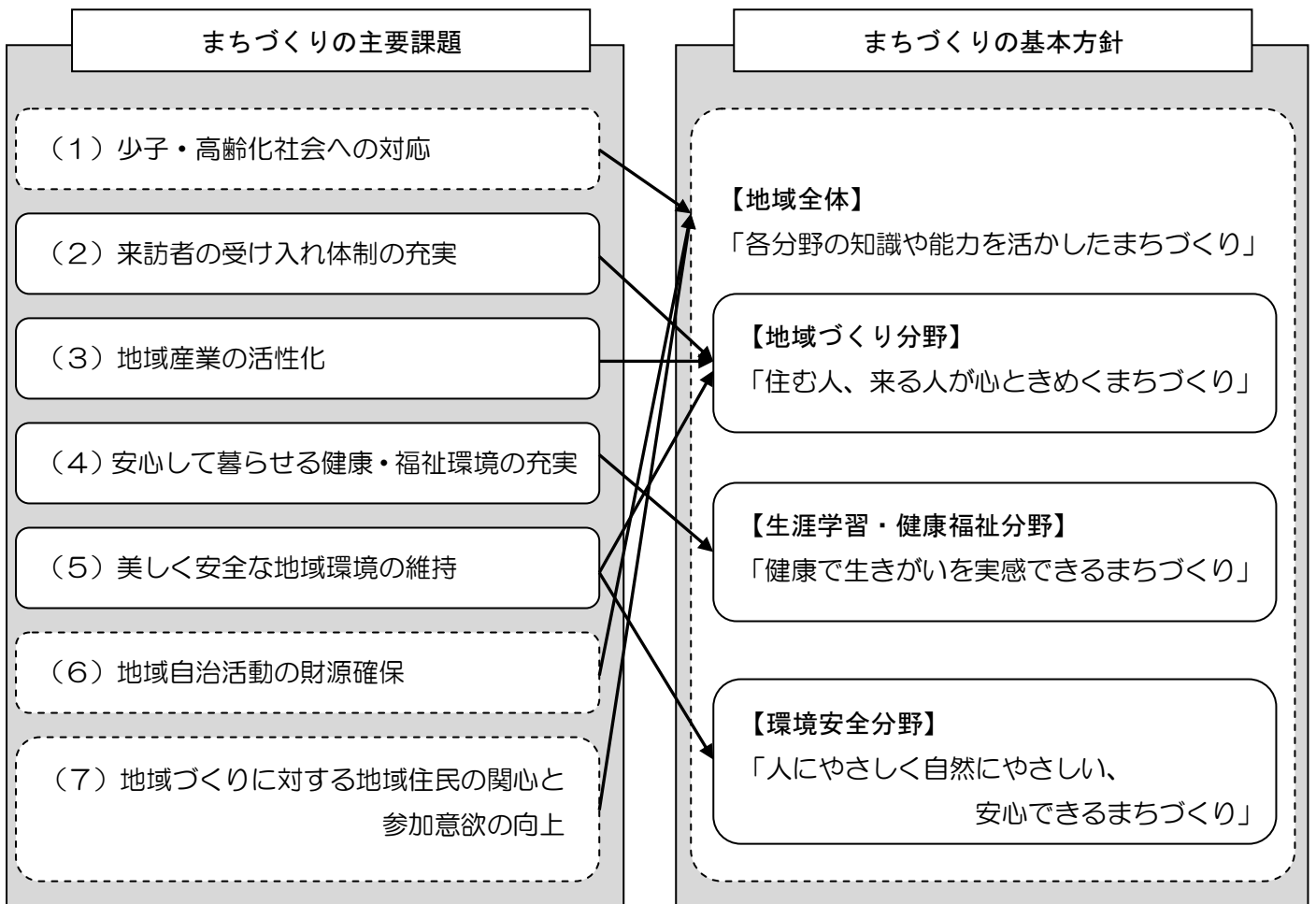
第4章 将来像の実現に向けた取組み施策

1. 主要課題と基本方針

第2章の「まちづくりの主要課題」と第3章の「まちづくりの基本方針」の関係性を整理します。

まちづくりの主要課題「(1) 少子・高齢化社会への対応」「(6) 地域自治活動の財源確保」「(7) 地域づくりに対する地域住民の関心と参加意欲の向上」については、主に地域全体の方針で対応し、その他の主要課題については、各分野ごとの方針で対応していきます。

■主要課題と基本方針の関係



2. 取組み施策

1) 【地域全体】「各分野の知識や能力を活かしたまちづくり」

(1) 地域で生み出す自主財源の確保

- ・粟鹿地域の課題解決を目的とし、必要な取組みを地域自ら進めていくために必要となる財源を地域で確保し、地域のまちづくりに利用していきます。

●具体的な取組み

①粟鹿地域で進める取組みへのコミュニティビジネス手法の活用検討

- ・福祉、食品加工、観光、交流など各分野の取組みにおいて、地域資源（人、土地、もの）を有効活用したコミュニティビジネスの手法の利用を検討します。

②コミュニティビジネスについての勉強会の開催

- ・コミュニティビジネスの手法や他都市の取組み事例などの知識を吸収し、粟鹿地域のまちづくりの取組みに活かしていきます。

(2) 粟鹿が有する施設の利活用の促進

- ・地域活動の場として粟鹿小学校舎の活用など粟鹿が有する既存施設の利活用を促進します。

●具体的な取組み

①粟鹿小学校舎の活用検討

- ・教室、給食室、図書室など今後の様々な地域活動の拠点として期待される粟鹿小学校舎の活用を検討します。
- ・粟鹿小学校舎の活用については、市等の関係機関と十分協議し、地域の活性化に向けた活用を検討します。

②西宮市立山東自然の家の利用促進と地域との交流促進

- ・西宮市から年間3万5千人の子ども達が訪れており、来訪者の利用促進を図るとともに、地域行事への参加を促し地域との交流促進に努めます。

(3) 継続して活動できる組織づくり

- ・粟鹿地域自治協議会を始め地域で活動する各種団体が継続して活動できるよう組織づくりを支援します。

●具体的な取組み

①粟鹿地域自治協議会活動の維持継続

- ・地域住民が協議会の各部会などに参加しやすい環境づくりに努めます。
- ・粟鹿地域自治協議会は、地域活動の窓口、事務局としての役割を認識し、活動の維持継続に努めます。

②地域活動のリーダーの育成

- ・地域の活性化に積極的な活動組織を支援し、次代を担う地域活動のリーダーを育成します。

(4) 粟鹿のまちづくりに関する情報発信

- ・粟鹿のまちづくりの情報を地域のホームページや広報誌へ掲載するなど、情報の公表を積極的に行い、地域住民等への周知に努めます。

●具体的な取組み

①粟鹿地域自治協議会ホームページの作成

- ・地域住民への情報提供や他の地域へPRをするため、ホームページを作成し、粟鹿地域の情報を継続的に発信し、地域への関心が高まるよう努めます。

②粟鹿地域広報誌の発行継続

- ・粟鹿地域自治協議会の活動や地域の情報を地域住民へ定期的に伝えるため、今後も定期的に粟鹿地域広報誌を発行配布します。

2) 【地域づくり分野】「住む人、来る人が心ときめくまちづくり」

(1) 粟鹿が有する歴史・文化資源の保全・活用

- ・粟鹿神社、當勝神社、大同寺などの寺社や遺跡など地域の貴重な歴史・文化資源を保全・伝承していくとともに、人を呼び込む観光資源としての活用にも努めます。

●具体的な取組み

①粟鹿の史跡マップづくり

- ・地域内においては歴史・文化の伝承、地域外に向けては粟鹿地域の PR 資料として活用していくために粟鹿の史跡マップづくりを進めます。

②粟鹿の歴史・文化の継承

- ・地域の歴史・文化資源や地域に伝わる伝統行事などを再認識し整理するとともに、課外教室や出前講座などを開催し次世代に伝えていくことで粟鹿の歴史・文化を後生に伝えていきます。

(2) 農林業・観光産業など地域産業の活性化

- ・農地や山林は、農作物の生産や材木としての利用だけでなく、防災機能や緑豊かな景観形成など重要な役割を担っていることから、今後も農林業の促進を図るとともに多面的な機能の活用にも努めます。
- ・農業や歴史・文化資源など地域が有する資源を活かし有機的につなぐことで、人が訪れたい魅力ある地域を目指し、地域住民と来訪者が交流し共に楽しめる観光産業の活性化につなげていきます。

●具体的な取組み

①★遊休農地の利活用

- ・遊休農地については、貸農園や観光農園など農業と観光とをつないだ利用を検討するとともに、ビオトープや企業誘致など他の用途への活用を検討します。

②★特産品づくり

- ・「粟（あわ）」などを作り、粟餅などに加工し販売する仕組みを地域で構築し、新たな雇用の創出や地域の自主財源として安定した収益の確保に努めます。

③農業後継者の育成・新たな農業の担い手の確保

- ・農業後継者を育てる体制を構築するとともに、新たな農業従事者を受け入れるなど農作業に従事しやすい体制づくりを行います。

★印は「粟鹿地域ふるさと自立計画策定会議」において、具体的な取組み内容を検討したものです。(P.40～42、P.52～56 参照)

(3) 来訪者の受け入れ体制の確立

- ・来訪者が気軽に粟鹿地域を訪れ、粟鹿の地域資源を楽しめるよう地域全体で安全・快適な地域づくりを目指し、来訪者の受け入れ体制の確立に努めます。

●具体的な取組み

①交流拠点の確保

- ・粟鹿小学校舎などについては、地域の交流拠点として来訪者の受け入れる場所として活用を検討します。

②来訪者の受け入れ窓口の設置

- ・粟鹿地域自治協議会が来訪者の受け入れ窓口となり、地域の魅力を紹介していきます。

3) 【生涯学習・健康福祉分野】「健康で生きがいを実感できるまちづくり」

(1) 子どもから高齢者まで安心して暮らし続けられる総合的な福祉の支援

- ・粟鹿で元気に暮らし続けられるよう福祉や子育てを中心とした支援活動を地域や企業、各種団体等と協働のもとに進めていきます。

●具体的な取組み

①★あわが元気弁当づくり

- ・地域で収穫した食材を使い、高齢者や単身赴任の方などに健康的な食事（弁当）を提供します。
- ・弁当づくりには粟鹿小学校の給食室を活用し、調理・配達スタッフを雇用することで新たな雇用の創出に努めます。

②★弁当の宅配を兼ねた見回りやご用聞き

- ・弁当の配達の際に見回りを行うことで地域住民の安全の確保を図るとともに、生活に必要なもの、して欲しいことなどのご用を聞き取り、対応に努めていきます。

③★介護者を抱える家族の支援

- ・地域内の老人ホームなどと連携を図り、粟鹿小学校舎を活用することで要介護者の介護を行い、要介護者を有する家族の支援に努めます。

④子育て支援の充実

- ・粟鹿小学校舎などを活用し、放課後学童クラブ、預かり保育、子どもを持つ親の相談や交流の場を作り、地域で子育てしやすい環境を作ります。

★印は「粟鹿地域ふるさと自立計画策定会議」において、具体的な取組み内容を検討したものです。(P.40～42、P.52～56 参照)

(2) 移動手段の確保

- ・地域住民の移動手段として、自家用車での移動だけに頼らず自家用車を運転できない方のために、バスなどの公共交通機能の確保・充実に努めます。

●具体的な取組み

①コミュニティバス（アコバス）の維持継続

- ・地域住民の移動手段確保のため、コミュニティバス（アコバス）の運行継続と利用しやすいバス交通の充実に努めます。

②地域内での移動の確保検討

- ・病院やスーパーなど生活する上で必要な場所への移動においては、地域で住民の移動が確保できるような仕組みを検討します。

(3) 地域内や世代間の交流促進

- ・地域内での各種交流イベントを通じて人と人とのつながり、地域への愛着を深め共に支え合う機運を高めていきます。

●具体的な取組み

①手芸教室など新たな交流機会の創出

- ・新たな交流機会を作り、地域コミュニティの強化を図るとともに、地域のまちづくりを担う人材の発掘・確保に努めます。

②既存の交流イベントの継続・見直し

- ・各区や地域全体で行われているイベントや行事などの内容を踏まえた上で、統合や再編を検討し継続に努めます。

4)【環境安全分野】「人にやさしく自然にやさしい、安心できるまちづくり」

(1) 交通安全、防災・防犯対策の充実

- ・地域全体で交通安全、防災・防犯活動を行う体制づくりに努めます。

●具体的な取組み

①交通安全対策設備の整備

- ・交通事故が増加しているインターチェンジ周辺などにおいては、適切な交通誘導看板等を設置し交通事故のない安全なまちづくりに努めます。

②防災体制づくり

- ・災害対策の講習会などを開催し、防災知識の普及と防災意識の啓発に努めるとともに、自主防災組織の機能を充実し、防災体制の強化に努めます。

③防犯対策設備の整備と通学時の見守り体制づくり

- ・街路灯の点検や設置、防犯看板の設置など防犯対策の整備に努めるとともに、地域で通学時児童の見守りを実施するなど安全で安心なまちづくりに努めます。

(2) 粟鹿山や粟鹿川等の環境保全

- ・美化活動や環境整備により、粟鹿山や農地、粟鹿川など地域の豊かな自然環境を守っていきます。

●具体的な取組み

①清掃活動や美化活動の推進

- ・粟鹿山、粟鹿川の整備を促進するとともに、地域で定期的に清掃活動を実施することで自然環境の保全に努めます。

②ごみの減量化・リサイクル

- ・家庭内からでるごみの減量化を進めるとともに、リサイクル活動を今後も進めていきます。

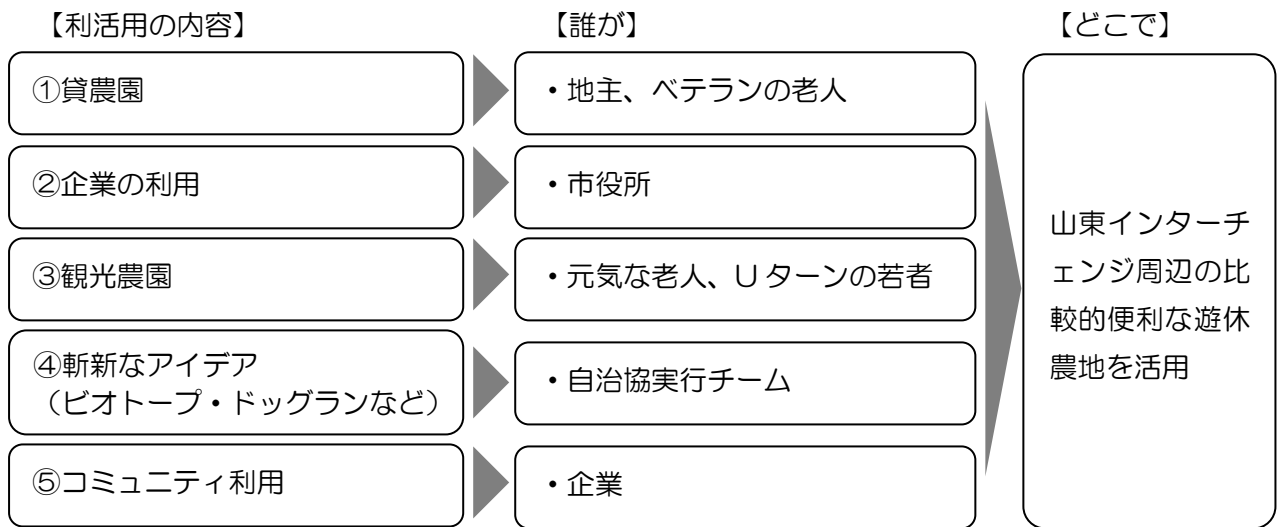
3. 具体的な取組み施策についての検討

「粟鹿地域ふるさと自立計画策定会議」の第4回、第5回会議において具体的な取組み施策について検討した結果を取りまとめ、以下に整理します。

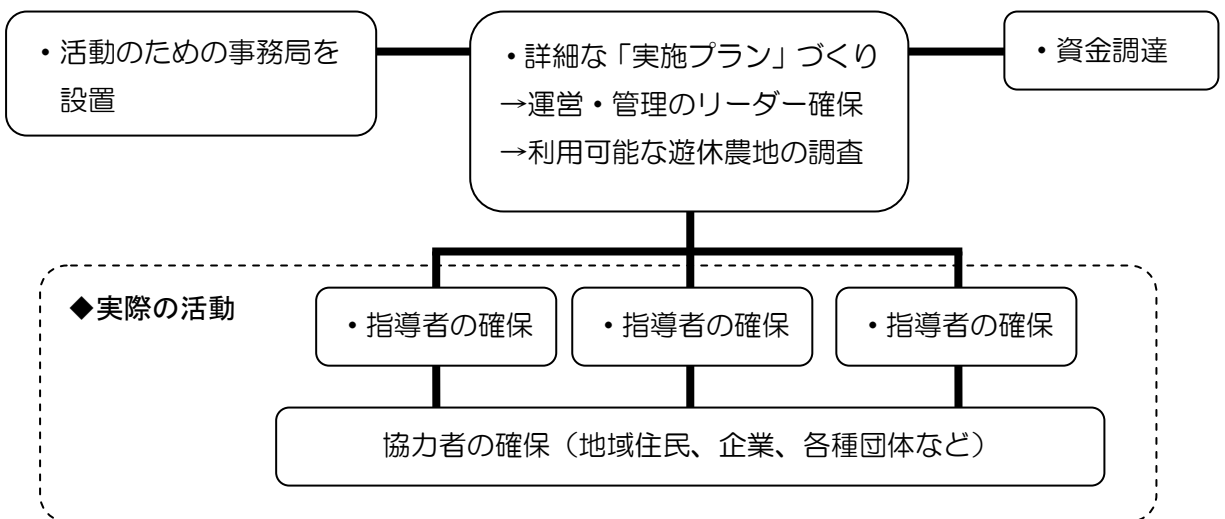
1) 「遊休農地の利活用」について

遊休農地の利活用については、5つの利活用の内容が出され、具体的な検討を行いました。

■取組み内容



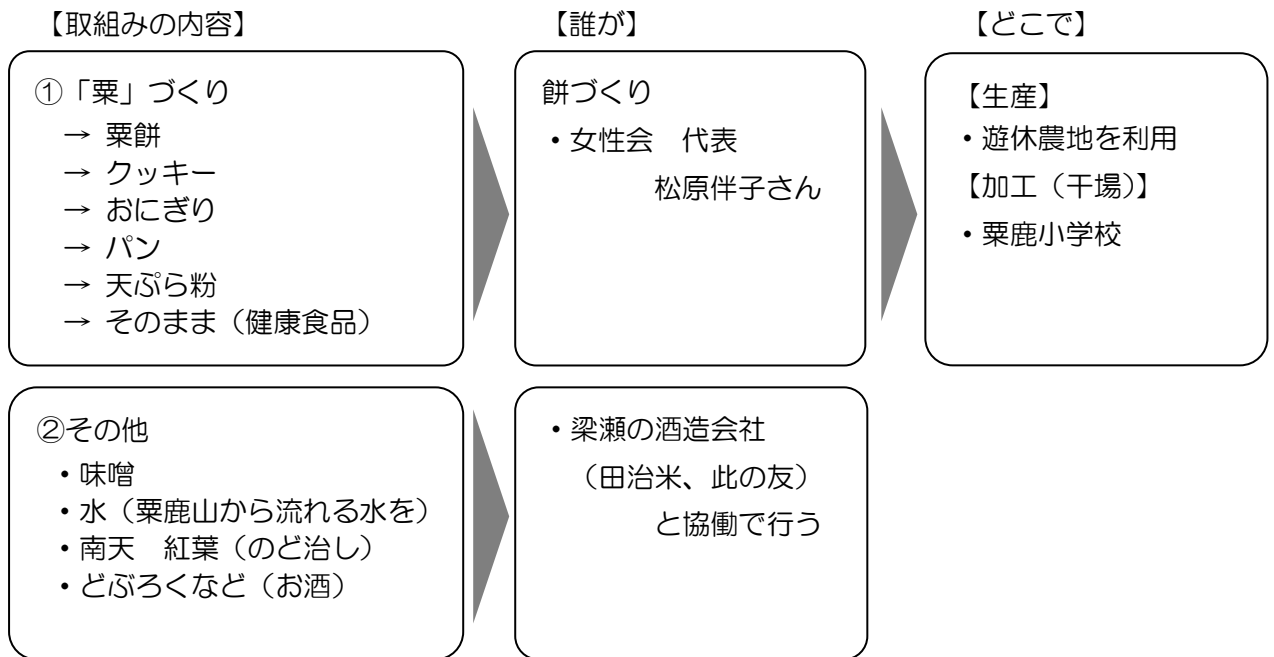
■取組み体制など



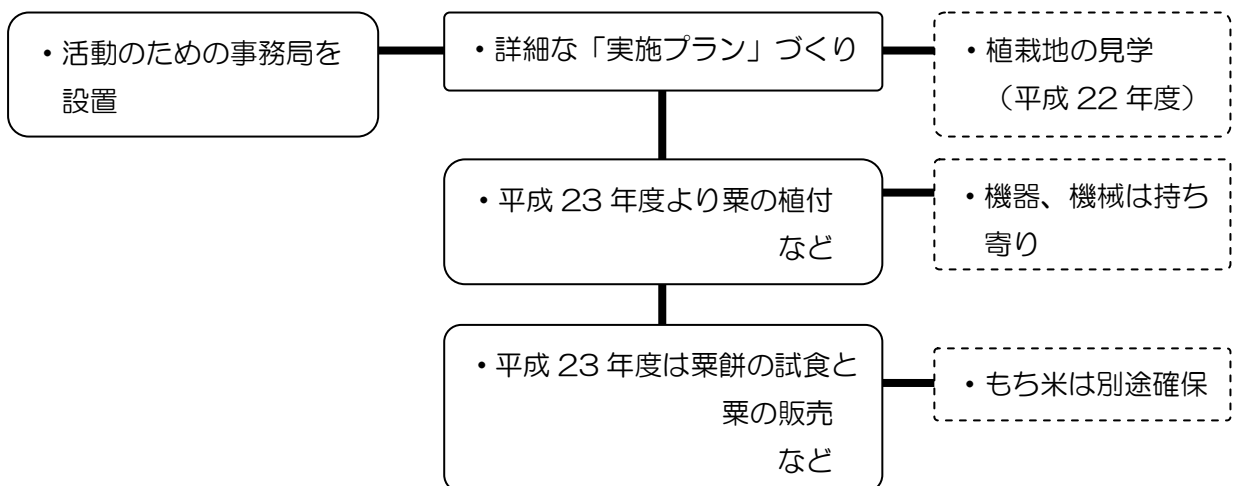
2) 「特産品づくり」について

特産品づくりについては、粟鹿地域の名前の由来とも関係のある「粟」を使った特産品について具体的な検討を行いました。

■取組み内容



■取組み体制など



※今後の調査検討

- ・耕運、肥料等に係る費用
- ・栽培方法、収穫方法
- ・スズメ対策（ネット） など

3) 「安全・安心」について

安全・安心については、福祉を基本とした「①介護者を抱える家族の支援」「②あわが元気弁当」「③高齢者の生きがい野菜づくり」について具体的な検討を行いました。

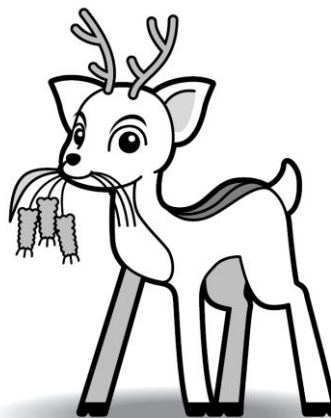
■取組み内容

<p>①介護者を抱える家族の支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護用品の販売 ・ケアサービス ・一時滞在住宅の管理（住宅は市が建設し指定管理を受ける） ・要介護者の支援事業 	<p>②あわが元気弁当</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域見守り隊の設立 ・独居老人への見回り ・独居老人、老夫婦、身障者に対する買い物代行 ・買い物同行
<p>③高齢者の生きがい野菜づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の自立を支える ・高齢者に安心・安全な野菜を作ってもらふ。自治協が販売 ・自立した安心・安全なまちづくり 	<p>④その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・放課後学童クラブ（小学校低学年）

■取組み体制など

	誰が	どこで	誰に	どのように	予算
①介護者（有） 家族の支援	・緑風の郷職員	・粟鹿小学校舎 ・空家	・希望者 （高齢者等）	・入居者に合わせて支援	収入：利用料 支出：職員給料、 施設光熱費
②あわが元気 弁当	・地区の婦人会 （時給）	・粟鹿小学校の 厨房設備活用	・高齢者等へ 1食 （昼 or 夕）	・メニュー3種類 ・独居老人の見回り（声掛け） ・御用聞き（同行） ・地産地消で（地元の野菜等を使用）	収入：弁当代 支出：弁当材料代、 人件費
③高齢者の生きがい野菜 づくり	・遊休農地を活用して野菜づくりを行い、特産品の材料とします。				

第5章 まちづくりの推進に向けて



第5章 まちづくりの推進に向けて

1. 取組みの推進プログラム

第4章で挙げた取組み施策についての推進プログラムを以下に示します。

これら施策の中で、「第4章 3. 具体的な取組み施策についての検討」で検討した施策については、今後さらに詳細な取組みを検討し、実現化に努めます。

1) 【地域全体】「各分野の知識や能力を活かしたまちづくり」

取組み施策	時期			推進体制		
	短期	中期	長期	地域	企業・団体	行政
(1) 地域で生み出す自主財源の確保						
①栗鹿地域で進める取組みへのコミュニティビジネス手法の活用検討						
②コミュニティビジネスについての勉強会の開催						
(2) 栗鹿が有する施設の利活用の促進						
①栗鹿小学校舎の活用検討						
②西宮市立山東自然の家の利用促進と地域との交流促進						
(3) 継続して活動できる組織づくり						
①栗鹿地域自治協議会活動の維持継続						
②地域活動のリーダーの育成						
(4) 栗鹿のまちづくりに関する情報発信						
①栗鹿地域自治協議会ホームページの作成						
②栗鹿地域広報誌の発行継続						

短期：～2年以内、中期：2年～3年、長期：4年～5年、それ以降

2) 【地域づくり分野】「住む人、来る人が心ときめくまちづくり」

取組み施策	時期			推進体制		
	短期	中期	長期	地域	企業・団体	行政
(1) 粟鹿が有する歴史・文化資源の保全・活用						
①粟鹿の史跡マップづくり						
②粟鹿の歴史・文化の継承						
(2) 農林業・観光産業など地域産業の活性化						
①★遊休農地の利活用						
②★特産品づくり						
③農業後継者の育成・新たな農業の担い手の確保						
(3) 来訪者の受け入れ体制の確立						
①交流拠点の確保						
②来訪者の受け入れ窓口の設置						

短期：～2年以内、中期：2年～3年、長期：4年～5年、それ以降

3) 【生涯学習・健康福祉分野】「健康で生きがいを実感できるまちづくり」

取組み施策	時期			推進体制		
	短期	中期	長期	地域	企業・団体	行政
(1) 子どもから高齢者まで安心して暮らし続けられる総合的な福祉の支援						
①★あわが元気弁当づくり						
②★弁当の宅配を兼ねた見回りやご用聞き						
③★介護者を抱える家族の支援						
④子育て支援の充実						
(2) 移動手段の確保						
①コミュニティバス（アコバス）の維持継続						
②地域内での移動の確保検討						
(3) 地域内や世代間の交流促進						
①手芸教室など新たな交流機会の創出						
②既存の交流イベントの継続・見直し						

短期：～2年以内、中期：2年～3年、長期：4年～5年、それ以降

4)【環境安全分野】「人にやさしく自然にやさしい、安心できるまちづくり」

取組み施策	時期			推進体制		
	短期	中期	長期	地域	企業・団体	行政
(1) 交通安全、防災・防犯対策の充実						
①交通安全対策設備の整備	■	■	□	□	□	■
②防災体制づくり	■	■	□	■	□	□
③防犯対策設備の整備と通学時の見守り体制づくり	■	■	■	■	■	■
(2) 粟鹿山や粟鹿川等の環境保全						
①清掃活動や美化活動の推進	■	■	■	■	■	□
②ごみの減量化・リサイクル	■	■	■	■	□	■

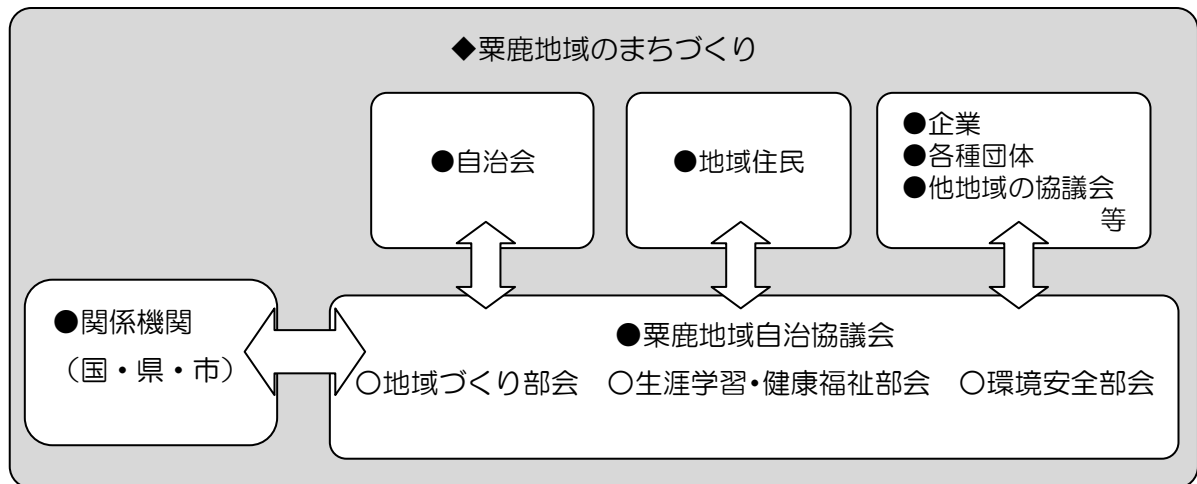
短期：～2年以内、中期：2年～3年、長期：4年～5年、それ以降

2. 役割分担と地域協働

粟鹿地域のこれからのまちづくりを実践していくためには、地域住民、企業、関係機関、各種団体等が個々に取組んでいくものや相互に連携を図りながら取組んでいくものなど様々です。

そのため、近所でのふだんからのつきあいを大切にし、地域の課題解決のため互いにまちづくりへの意識の共有を図りながら、協働のもとに快適で暮らしやすいまちを目指した取組みを進めます。

■地域協働のかたち



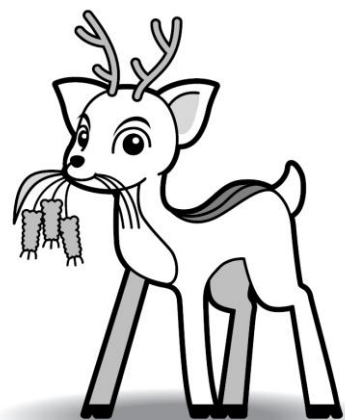
3. 計画の見直しについて

「粟鹿地域まちづくり計画」は、粟鹿地域を取り巻く状況の変化に適切に対応するために、3年ごとの見直し検討を行い、常に、時代の潮流や、地域状況の変化等に対応した計画づくりを目指します。

見直しの内容としては、取組みの施策である「第4章 将来像の実現に向けた取組み施策」の見直し検討を行います。

また、人口や産業構造、行財政など社会経済情勢の大きな変化が見られた場合などには、必要に応じて「第3章 粟鹿地域が目指す将来像」を見直します。

參考資料



参考資料

1. 粟鹿地域まちづくり計画策定の経過

粟鹿地域まちづくり計画は、「粟鹿地域ふるさと自立計画策定会議」を中心として、地域の現状や課題、地域課題の解決に向けた具体的な事業の検討を行い取りまとめたものです。

■計画策定の経過

		内 容
第1回 (9月2日)	検討内容	<ul style="list-style-type: none"> 地域の現状・課題の確認 地域のこれからの活動の確認
	(話題提供)	まちづくり・むらづくりとは？ ～各地のまちづくり・むらづくり事例を見ながら～
第2回 (10月22日)	検討内容	<ul style="list-style-type: none"> 今後の取組みの絞り込み 今後の取組みの検討について まちづくりのテーマについて
	(話題提供)	・「これからのまちづくり・むらづくり」 ～ “新しい公共” による地域づくり、地域自治～
第3回 (11月24日)	検討内容 (話題提供)	<ul style="list-style-type: none"> これから取組む事業の進め方 (話題提供含む) <ul style="list-style-type: none"> 取組みの進め方 取組み内容の企画立案
第4回 (12月20日)	検討内容	<ul style="list-style-type: none"> これから取組む事業の企画書を作成—その1 (だれが、いつ、どこで、何を、どうする、なぜ、いくら…)
第5回 (1月20日)	検討内容	<ul style="list-style-type: none"> これから取組む事業の企画書を作成—その2 (だれが、いつ、どこで、何を、どうする、なぜ、いくら…)
第6回 (3月3日)	内容	<ul style="list-style-type: none"> これまでの策定経過の報告 粟鹿地域まちづくり計画の発表

2. 第4回、第5回粟鹿地域ふるさと自立計画策定会議での意見

「粟鹿地域ふるさと自立計画策定会議」の第4回、第5回会議において具体的な取り組み施策について検討した際の意見の概要を以下に整理します。

1) 第4回、第5回会議について

第4回と第5回会議では、粟鹿地域が今後取り組む具体的な取り組み内容について、3班に分かれ意見交換を行いました。

■検討した3つの取り組みテーマ

	取り組みテーマ	主な検討内容
1班	①遊休農地の利活用	・貸農園や企業の利用など5つの活用内容や人を呼び込む仕掛けづくりなどについて話が進みました。
2班	②特産品づくり	・栗づくりを中心とした特産品について話が進みました。
3班	③安心・安全	・「①介護者を抱える家族の支援」「②あわが元気弁当」「③高齢者の生きがい野菜づくり」について話が進みました。

■検討風景



2) 各班の意見概要

1 班		「遊休農地の利活用」について (1/2)	
グループ参加者氏名		(第4回) 山本す、西こ、村上あ、西垣え、藤原き、高階、松浦	
		「何を (活動内容)」	「誰が」
①貸農園	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市民農園 ・ 貸農園としての活用 ・ 貸農園 ・ 貸農園の推進 ・ 農園管理者の育成 ・ 遊休農地を出さない方法 		<ul style="list-style-type: none"> ・ 地主
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 農家民宿 ・ 農業教室 ・ 農業体験 米づくり等 		<ul style="list-style-type: none"> ・ ベテラン老人
②企業の利用	<ul style="list-style-type: none"> ・ 企業の貸付 ・ 企業誘致 ・ 貸看板を立てる 		<ul style="list-style-type: none"> ・ 市役所
③お金もうけ	<ul style="list-style-type: none"> ・ ハウスによる野菜づくり ・ レンゲ畑、コスモス畑を作る。 ・ ICを活かす ・ ICを活かしてイチゴ狩りと黒大豆狩り ・ 芝生づくり ・ 花を育てる ・ 観光農園 		<ul style="list-style-type: none"> ・ 元気老人 ・ Uターンの若者
④斬新なアイデア	<ul style="list-style-type: none"> ・ ピオトープ ・ ドッグラン ・ 打ちっぱなし ・ 釣り堀 ・ 牧場 (サファリ) 		<ul style="list-style-type: none"> ・ 自治協実行チーム
⑤コミュニティ利用	<ul style="list-style-type: none"> ・ グラウンドにする ・ 大学 (サークル) の練習場 ・ グラウンドゴルフ場 		<ul style="list-style-type: none"> ・ 企業
⑥その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ 畦草刈りチームを作る (組織) ・ 地域で遊休地が増えている 		<ul style="list-style-type: none"> ・ 土日が休みの若者グループ

1 班	「遊休農地の利活用」について (2/2)
グループ参加者氏名	(第 5 回) 山本す、西こ、村上あ、西垣え、高階、黒田
<p>■実行体制</p> <p>○貸農園・農業体験 周辺のみ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・便利なところ (IC 近くの) → ・実際にある ・リーダーが必要 → ・誰かいるかな? ・指導者 (作業の) → ・探したらいそう。ベテラン老人の活用 ・オーナー制 (枝豆とかどう) → ・もち米をつくろう ・花 (レンゲ、コスモス等) 取組みやすい <p>○人を呼び込むしかけ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資金必要 出資を募る? ・まず人を呼び込む⇒観光農園 ・イチゴ、黒豆 ・経営者+協力者 ・誰がやってくれる? ・協力者探し どんな事業をするかをしっかり示す必要有 “プラン” <p>事務局が必要!</p>	

■検討風景 (1 班)



2 班	「特産品づくり」について
グループ参加者氏名	(第 4 回) 山本卓、木村、金田ひ、金田ち、岡藤、掃部 (第 5 回) 山本章、木村、金田ひ、金田ち、掃部、日神美、石原武美、梶原博司、田中局
○栗づくり ・あわ ・もち米 ・栗餅を作る ・遊休地を利用 ・クッキー ・おにぎり ・パン ・天ぷら粉 ・そのまま（健康食品） ○餅づくり「誰が」 ・女性会 代表 松原伴子	○その他 ・粟鹿地域内にある生活改善グループの作っている味噌等を調べて、生産、販売できるようなものをつくったら ・ミソ ・水 粟鹿山から流れる水を ・南天 紅葉 実はのど治し ・どぶろく 粟鹿山（きれいな水）、梁瀬の酒造会社（田治米合名酒、此の友）に協力してもらう
■実行体制 <ul style="list-style-type: none"> ・栗をつくる。コミセン近くの遊休農地を利用する。 ・畑づくり。農地借り入れ、1 反 OK（桂野工務店） ・畑づくり。2ヶ所に分ける。山本卓、梶原、日神美、田中、石原 ・H23 年 6 月より栗の植付をする。種子 ・予算？1 反、耕運、肥料、年間。今後の調査 ・栽培の機器、機械は持ち寄りで行う。 ・和田山室尾見学する（話を聞きに行く）3 月中 ・栽培方法、収穫方法確認 ・品種？収量？ ・スズメ対策、ネット、その他 ・刈り取り後、栗小校舎を利用する（干場） ・本年度は栗モチ試食、栗の販売 ・試食、他の食品も検討 ・もち米別途確保（本年は） ○試食の感想（H23.1.14） <ol style="list-style-type: none"> ①栗をつけすぎ、つぶれてしまっている。 ②栗をくわえている鹿のイラスト、由来をパッケージに貼る。 ③餅の中にあんこを入れるのではなく、餅の上からあんこを半分だけまぶす。 ④餅の上から焼き印（栗をくわえている鹿のイラスト） ●栗鹿の由来 三本の栗をくわえた鹿が三俣峠から東に向かって…	

■検討風景（2 班）



3班	「安心・安全」について				
グループ参加者氏名	(第4回) 岡田、枚田、小野、西垣、住吉、田路 (第5回) 岡田、枚田、小野、西垣、奥、寒竹				
○介護者(有) 家族の支援	<ul style="list-style-type: none"> ・介護用品の販売 ・ケアサービス ・一時滞在住宅の管理(住宅は市が建設し指定管理を受ける) ・要介護者の支援事業 		○あわが元気弁当 <ul style="list-style-type: none"> ・地域見守り隊の設立 ・独居老人への見回り ・独居老人、老夫婦、身障者に対する買い物代行 ・買い物同行 		
○高齢者の生きがい野菜づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の自立を支える ・高齢者に安心・安全な野菜を作ってもらう ・自治協が販売 ・自立した安心・安全なまちづくり 		○その他 <ul style="list-style-type: none"> ・放課後学童クラブ(小学校低学年) 		
■実行体制					
	誰が	どこで	誰に	どのように	予算
① 介護者(有) 家族の支援	緑風の郷職員	学校(空家)	希望者(高齢者)	入居者に合わせて支援	収入: 利用料 支出: 職員給料、施設光熱費
② あわが元気弁当	地区の婦人会(時給)	小学校厨房設備活用	高齢者等へ1食(昼 or 夕)	<ul style="list-style-type: none"> ・メニュー3種類 ・独居老人の見回り(声掛け) ・御用聞き(同行) ・地産地消で(地元の野菜等を使用) 	収入: 弁当代 支出: 弁当材料代、人件費
③ 高齢者の生きがい野菜づくり	1、2班にまかせる				

■検討風景(3班)



粟鹿地域まちづくり計画

平成 23 年（2011 年）3 月

作成／粟鹿地域自治協議会

〒669-5125

兵庫県朝来市山東町粟鹿 873

TEL 079-676-2720